



「周南市北部の地域交流プロジェクト」

ふれあいの森なんでも工房 × 沼城小学校育友会 (PTA) × 須々万おやじの会

- 教育・子育て
- 地域づくり
- 福祉・健康・医療
- 産業・観光
- その他 (国際交流)
- 生涯学習・人権
- 安心安全
- 都市基盤
- 環境共生



施設の利用者の増加・新たな後継者の発掘と育成を図る

15年間かけて整備してきた「須々万ふれあいの森」の施設や整備をSNSなど活用して広く呼びかけることで、世代間交流や周南市北部の地域づくり活動の施設利用増加と、事業を通して地域づくりを担う人材の発掘・育成を図る。

PROJECT POINT

- ① SNSやインターネット・パンフレットを活用したお客様への施設のアプローチ
- ② 施設を担う次世代の後継者、担い手の発掘
- ③ 周南市北部の活動拠点の中心となるような取り組み

APPROACH ▶ 今までと違う周知方法での利用者の拡大と後継者の発掘

“周南市北部の地域交流プロジェクト”の取り組み

15年かけて整備してきた「ふれあいの森なんでも工房」だが、メンバーの高齢化が進み存続が危うい状態のため、施設を担う次世代の後継者を集めたい。そのために、これまで口コミで活動してきた施設をSNSやインターネット・パンフレットを活用して積極的に情報発信し、社会全体に周知することで施設の利用者を増やし、多くの人の目に触れ、後継者の発掘を図った。また、自然に囲まれた敷地内にはアスレチック施設や手作り遊具を設置し、木工・竹細工などの工房体験、ピザ釜を使った野外料理体験など、老若男女問わず訪れることができる施設として周南市北部の活動拠点となるように取り組んでいる。

“周南市北部の地域交流プロジェクト”の目標

「ふれあいの森なんでも工房」は木工細工・草木染め・はた織りなど色々なものづくりを体験することができる施設のため、子どもや大人に施設を幅広く周知し、ハンドメイドやサークル活動の場として利用拡大を図りたい。また、工房に関わるメンバーを増やし、その中から工房の後継者、担い手を発掘し共に施設を盛り上げていきたい。